

サービス業

回答企業42企業

概況

～業況判断D I 値 全項目で大幅改善～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比38.1ポイント上昇の11.9と改善し、前回調査予想値(9.5)を上回る結果となった。項目別では、売上・受注で54.8ポイント上昇の31.0、売上数量が45.2ポイント上昇の23.8、利益でも40.5ポイント上昇の11.9と全項目で改善となった。

新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着きを見せ、業種間格差はあるが総合的業況改善で推移した。

分野別の状況

～総合的業況は改善で推移～

新型コロナウイルス感染症の5類引下げの影響は大きく、大幅な業況改善となった業種が増加した。

さくら祭り、ゴールデンウィーク等旅館・ホテル業は宿泊やホテルでの宴会等増加し、大幅に改善した。

クリーニング業は衣替えの時期もあったため売上は増加。材料価格は高騰しているが、価格の値上げ実施により利益確保。

自動車整備・車検は、売上・利益とも確保されたが、人材不足の状況が続いており、人員確保が厳しい状況である。

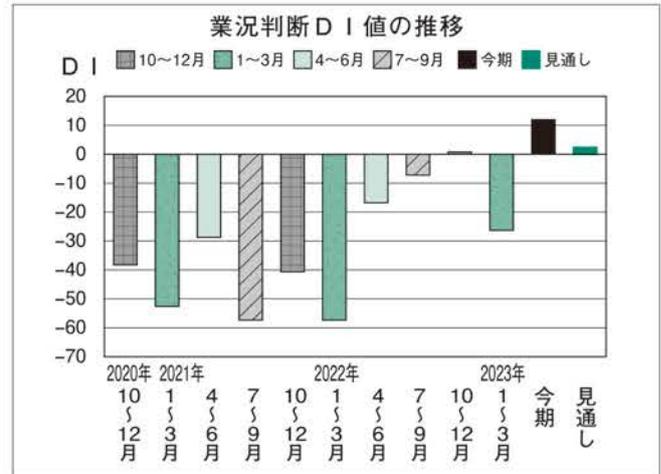
自動車教習所は、入校者数が減少する時期であるが、高齢者講習に人員配置できなかったこともあり売上は減少。

来期の見通し

～業況判断D I 値 やや悪化の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比9.5ポイント低下の2.4とやや悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で33.4ポイント低下の▲2.4、売上数量が26.2ポイント低下の▲2.4、利益でも11.9ポイント低下の0.0と全項目で悪化の見通しとなった。夏祭り等の各種イベントからホテル業の予約状況は良好であるが、季節要因により売上が落ち込む業種もあり、前期比ではやや悪化の見通しである。



運輸業

回答企業10企業

概況

～業況判断D I 値 良好に推移～



今期の業況判断D I 値は、前回調査比20.0ポイント低下の10.0と悪化し、前回調査予想値(20.0)を下回る結果となった。項目別では、売上・受注で10.0ポイント上昇の20.0、売上数量が20.0ポイント上昇の30.0、利益でも30.0ポイント上昇の10.0と項目別では改善となった。

業種間格差があるが、有袋ふじの輸送を中心に受注は良好に推移したが、燃料費高騰により利益確保に各企業とも努力している。

分野別の状況

～総合的業況は良好に推移～

旅客運送業は、さくら祭り・ゴールデンウィーク等国内ツアー再開により、売上確保できた。

貨物運送業は、生鮮野菜の出荷量が増加傾向にあり売上増加している。

燃料価格高騰が利益を圧迫している中、価格転嫁できた企業とできなかった企業では利益に格差がでている。

一般区域貨物では、東日本大震災関連工事が一段落したことによる、売上減少の影響もあった。

来期の見通し

～業況判断D I 値 やや改善の見通し～



来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比10.0ポイント上昇の20.0とやや改善の見通しである。項目別では、売上・受注で10.0ポイント低下の10.0、売上数量が20.0ポイント低下の10.0、利益では10.0ポイント上昇の20.0となった。

燃料費高騰や経費増加が不安材料ではあるが、各企業とも経費削減や効率化を主に利益確保に取り組んでいる。りんごについては受注が落ち込む時期となるため売上・数量はやや減少の見通し。

